

地域を元気にする主役はわたしたち！



今年度の男女共同参画センターのテーマ「地域を元気にする主役はわたしたち！」のもと、萩原なつ子さん（独立行政法人国立女性教育会館 理事長）をお迎えし、6月に講演会が開催されました。

萩原さんの講演では、新たな法律や社会の動き、「男性はこうあるべき」「女性だからこうするべき」といった無意識の偏見や、固定的性別役割分担意識の問題点など、現代社会が抱える課題について、ユーモアを交えながらお話がありました。



また、イギリスの経営学者チャールズ・ハンディの「4つのワーク」についても紹介されました。この場合のワークは“人生の役割”を意味しています。

家事・育児・介護などの「家庭ワーク」、雇用などの「有給ワーク」、学び直しなどの「学習ワーク」、ボランティア・社会活動などの「ギフトワーク」という4つのワークがあり、「ギフトワーク」は地域を元気にするためにとても重要であると述べられました。

後半は、藤尾千秋さん（小野市下来住町 自治会長）、藤原弘三さん（株式会社藤原 取締役専務）を交えたトークセッションを開催。自治会活動や地域活性化などについて、ともに考える機会となりました。

トークセッション

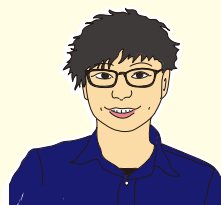


藤尾千秋さん
（小野市下来住町 自治会長）

現状を変えて欲しいという町内の人たちからの声を聞き、「どう変えたらよいのかを知るためには、役員をやってみないと分からない」と考え、自治会長になる決心をしました。

自治会長になったからには「誰もが住んでよかったと思える町にしたい」という気持ちで取り組んでいます。また、女性に対しては「千秋さんができるなら、私にもできる！と思ってもらいたい」という思いも持っています。

「地域を元気にしたい」という思いから仲間と始めた“きすみのマルシェ”での人とのつながり、これまでの経験や学びを活かして日々活動しています。



藤原弘三さん
（株式会社藤原 取締役専務）

「誇りを持ち、やりがいを感じられる環境を作りたい」という思いで、会社の経営や地域での農業に取り組んでいます。

農業では、「地域を元気にしたい」という思いから、自分たちの地区でとれた酒米で日本酒を製造したり、自分の育てた米を食べられる仕組みをつくりました。

「一人ひとりが面白い！楽しい！と感じて、仕事や農業に携わることで、企業や地域が元気になっていく」と考え、様々な分野で価値ある“ものづくり”の実現を目指しています。

地域の交流の場づくり

小野市には、社会福祉協議会の「ふれあい・いきいきサロン事業」があります。この事業は、各町の高齢者等を対象に、集まりやすい公民館などで、その地域の世話人（ボランティア）により、茶話会やレクリエーションを通して交流を行う場づくりです。今回私たちは、市内 3 ヶ所のサロンへ見学に行きました。



育ヶ丘町 いくちゃんカフェ



ひとり暮らし世帯が多くなったこの地域で、元気な高齢者の行く場所がないため、発起人が町に希望を出して平成 31 年に発足したこの会は、月 2 回自治会館を開放して行われており、町内の人なら誰でも参加できます。参加者は、10 時から 15 時までお茶を飲みながら好きなことをして過ごします。

この日は会の発足から毎回来ているという 4 名の女性がおしゃべりを楽しんでおられ、同時に、別室ではお世話係の人たちは文化祭などの今後のイベントについての話し合いをされていました。参加者にこの会の感想をたずねたところ、「家では話すことも笑うこともないから、この日が楽しみ」と言われていました。



葉多町 ひまつぶし会



公民館で月 3 回、10 時から 15 時ぐらいまで開催しており、町内の人なら誰でも参加できます。

この会は世話係代表の男性が退職を機に、よく話をしていた仲間 2～3 名で始め、今年で 12 年目になります。

この日の内容は誰もが簡単に楽しめる囲碁ボール、そして昼食はご飯を炊き、お取り寄せの具を温めて乗せた牛丼でした。

町内の店やほかの店に食事に行くこともあります。その際には世話係が車を出して、時期によっては花を見たり、新しくできた道路など世間の变化した場所に立ち寄りたりするそうです。

参加者は、「こんな楽しいところはない」「生きがいになっている」など楽しんでいる声ばかりでした。

世話係の代表者は、「会を継続していくためには、世話係が無理しないことが一番」と話されました。



下大部町 ひまわり会

公民館で月 1 回行われているこの会の参加者は現在 75 ～ 98 歳で、ほとんどがひとり暮らしです。町内で 75 歳を迎えた方に、お世話係がお誘いして参加者を広げています。

内容は食事会とレクリエーションで、お世話係の調理担当が家庭料理を準備している間、レクリエーション担当は、参加者にまちがい探しや、じゃんけんゲームなどの脳トレや紙芝居をします。

参加者からは、「普段話す機会のない方と話ができる」「ちょっとしたことを相談する場になっている」「毎回楽しみにしている」などの声が聞かれました。

お世話係の代表は、「何かあった時にすぐ集まって助け合える関係を作りたい、よりよい町になるように」との思いを持って活動されています。

この会は活動を始めて 11 年になります。お世話係の方が参加者側の対象年齢に達しながら、参加者に移行できないのが現状で、今後はもっと若い世代が関わってくれることを望まれていました。



これらの会の活動は、世話係のボランティア活動と、利用者の喜びが一致して成立している地域のコミュニティです。それぞれの会の世話係の人たちの、「利用者さんを楽しませたい」「よりよい地域になるように」と願う気持ちがまさにギフトワークだと感じました。



地区女性役員連絡会

平成 25 年度から開催されてきた地区女性役員連絡会（当初は意見交換会）。

市内には女性役員のいる自治会は 6 割を超えていますが、ほとんどの方は「順番だから」「頼まれて仕方なく」役に就いている現状があるようです。

そのような中で、女性の視点と声が、いかに自治会運営に大きな影響があるか気づいてもらう機会として開催されています。

9 月には、「住みやすいまちってなァに ～笑顔の花を咲かせましょう～」をテーマにグループワークを通じて交流や情報交換が行われました。



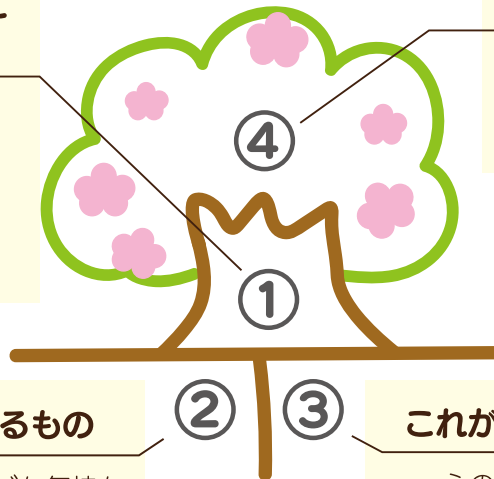
女性が地域で役員として活動することを 1 本の木に見立て、①～④について各グループで意見を出し合いました。その内容をまとめてみました。

女性が地域で活躍するために必要なこと

健康・前向きな気持ち・挑戦心
家族など周囲の協力・楽しむ心
思いやり・コミュニケーション
仲間・アイデアを言える機会
体力・信頼 など

女性の地域役員がいると良いこと

自己成長・笑い声があふれる地域
発展・明るい・新しい目・助け合い
活気・安心感 など



女性の地域活躍を阻害するもの

時間・否定的な人・ネガティブな気持ち
昔を持ち出す人・古い考えやしきり
理解してくれない家族の言葉 など

これがあったら頑張れる・栄養となるもの

心の余裕・周囲の応援や理解・達成感・勇気
自分の前向きな心・資金・希望・ごほうび
協力・わくわく・行政の支援 など

参加者の感想より

この連絡会で、役員として自分と同じ思いをしている人がいると感じたり、逆に自分とは違う角度からの考えに触れる機会になった人もいたようです。

また、「地域における女性の役割の重要性に気づいた」「女性がもっと声を上げる必要がある」などの気付きも見られ、ワークにより、「書くことで心の整理にもなった」という感想が見られました。

加えて、自分が役員になったことで、「家族や周囲の協力の重要性を知り、これまでの役員の方やその家族への感謝を感じた」という感想もありました。

「自治会役員女性参画推進事業補助金（平成 25 年度～ 27 年度）」

地域の女性参画を進めるために平成 25 年～ 27 年度に実施され、自治会役員に女性を 2 名以上継続登用する自治会に対して補助金が交付されました。

令和 6 年度の女性登用自治会数は全 90 のうち 54 で、登用率は 60%に達しています。
しかしながら、女性区長は 4 名にとどまっています。

これからの男女共同参画を考える

地域を元気にする主役はわたしたち

寄稿 萩原 なつ子 さん

(独立行政法人国立女性教育会館理事)



写真 山田大輔

少子高齢化、人口減少、防災、気候変動による災害など、地域の抱える困りごとが多様化している。だからこそ持続可能で、リスクに強い、誰一人取り残さない地域の実現のためには、多様な主体が参加・参画して地域の課題に取り組むことが求められている。第5次男女共同参画基本計画に、地域住民の半数を占める女性がより積極的に地域活動に参画する意義は大きいと示されている。

社員の介護離職が社会的問題として浮上してきたことがある。はて？でも女性の「ビジネスケアラー」は？と存在していたはずなのに、女性がケアするのは「あたりまえ」とみなされてきたので、課題として認識されてこなかったにすぎない。つまり、家事・育児・介護というケア労働は女性が担うべき、という固定的な性別役割分担意識が根強いからだ。

このような従来の男女の固定的性別分業やケア労働の在り方を見直すためにヒントとなる「4つのワーク」という考え方を提唱しているのが英国の経営学者チャールズ・ハンディである。『パラドックスの時代―大転換期の意識革命』、ジャパンタイムズ、1995年「4つのワーク」とは、家事・育児、介護等の家庭ワーク、雇用労働、自営業などの有給ワーク、学び直し、研修会などの学習ワーク、そして自治会、NPO、ボランティア、地域活動など社会貢献活動を意味するギフトワークの4つである。彼は性別を問わず、人生100年時代を意識して、この「4つのワーク」をバランスよく同時並行で行うのが21世紀型のワークスタイルであり、とくに家庭ワークや社会貢献のための仕事に主体的にかかわることが生涯にわたって自立した生活を維持することに役立つ働き方であると述べている。

ではなぜ、女性の参加、参画が必要なのか。平等、公正（公平）の人權的側面が第一義にあるが、もっとシンプルに、女性たちの経験に基づく意見が意思決定に反映されることによって、新しいアイデアが生まれたり、新しい価値の創造につながったりすることが期待できるからだ。同質性の高い「男性」だけでは、女性たちや若者が抱える課題がなかなか課題として発見されず、社会的、政治的課題になかなかならない。たとえば近年、仕事を続けながら家族などをケア（子育て、介護など）する働き手を意味する「ビジネスケアラー」という言葉が注目されているが、その背景には、働き盛りの男性

小野市でできるギフトワーク（ボランティア活動）



小野市男女共同参画センター 登録団体紹介



小野市男女共同参画センターでは、男女共同参画社会づくりに向けた活動を継続的に行う団体を支援するとともに、男女共同参画センターとの協働による事業を推進することを目的として『活動団体登録制度』を設けています。

おの女性防災グループ クローバー

女性の視点での防災を切り口に、ゲームやワークショップを通じて大人から子どもまで楽しく学びながら、地域の仲間づくりを目指しています。同時に、女性リーダーの育成にも力を入れています。また、最新の防災情報を取り入れた寸劇で楽しく啓発しています。

きすみのマルシェ

小野市下来住町にある「くわたにおんせん 鍬溪温泉広場」にて、小野市内、周辺地域の人々に、「鍬溪温泉」「きすみの地区」「紅山」等の自然豊かな環境を知っていただくとうと、マルシェを開催しています。また、きすみの地域の魅力を SNS、チラシ等で発信し、男女相互の視点で地域を盛り上げていくことを目的に活動しています。

l è i -レイ-

男女共同参画（はーと・シップ フェスタ）・子育てイベントへの参加等を通じ、男女共同参画への理解を深めることを目的として活動中です。メンバー同士での情報交換も行い、メンバー発信によるイベント等にも参加し、ネットワークを広げています。

c o c o -ココ-

はーと・シップ フェスタへの参画・ブース出店などを行い、男女共同参画への理解を深めることを活動の目的としています。また、メンバーそれぞれに取り組んでいる活動をお互いが応援するなど、切磋琢磨しながら活動中です。

「おの女性防災グループ クローバー」

「l è i -レイ-」は、小野市女性団体連絡協議会にも登録。



小野市女性団体連絡協議会 登録団体紹介



平成 14 年 6 月に、小野市における各種女性団体が、相互にその立場を尊重しながら、交流、連携して、コミュニティづくりをし、男女共同参画社会の推進を図ることを目的として設立されました。

小野市いずみ会

「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに、食生活改善のためのボランティア活動を行っています。

小野市くらしの会

資源ごみの分別、マイバッグ持参の啓発、勧誘詐欺防止活動など、消費者の目線に立ち、身近な環境問題や消費生活の改善に取り組んでいます。

小野市消防団 女性分団 サンフラワーズ 119

避難所運営ガイド研修、簡易防災グッズの作り方指導、高齢者宅住宅防火訪問、地域防災訓練での防災指導、応急手当の普及活動などの活動を行っています。

小野ニュータウン自衛婦人消防隊

小野市消防大会への参加、防災街頭宣伝活動、年末警戒パトロールでの炊き出しなどに取り組み、現在 15 名で活動中です。

高山町女性消防団

高山町内での消防活動、防火街頭宣伝活動、小野市消防大会への参加、高山町子ども消防隊年末警戒の補助などを行っています。

小野市更生保護女性会

女性の立場から地域の犯罪予防と、犯罪者非行少年の更生保護に協力し、犯罪のない明るい社会の実現に寄与することを目的に活動しています。

ガイドヘルパー「やまなみの会」

視覚障がい者への外出サポート活動をしています。市内小学校でのアイマスク体験学習なども行っています。

小野託児サークル「このゆびと～まれ♪」

子育て中の保護者を対象とした学習会や、市内施設で開催される講座、女性検診時などでのお子さんの託児を通した子育て支援を行っています。

小野市茶道協会

季節に合わせたお茶会の開催や、イベント時の茶道体験などを行っています。

味彩会

コミュニティレストラン「誉田の館 いろどり」を運営し 10 年目。地域のおいしいお米と旬の食材を豊富に使った料理を提供しています。

飛翔会

市内外のイベントや施設で銭太鼓の演奏を行っています。銭太鼓を通じて、多くの方々との交流を深め、「生涯何事にもチャレンジ」という思いで、大勢で楽しみながら活動しています。

特定非営利活動法人 みらぽて

小野市近隣の学校へ行きづらい子どもの居場所づくりと、その親たちの情報交換や居場所づくりを行っています。

メンバー募集中のグループあり♪
関心をお持ちの方はこちらまで

小野市男女共同参画センター登録団体について

小野市男女共同参画センター

〒675-1366 小野市中島町 72 番地 うるおい交流館エクラ内
TEL : 0794-62-6765

小野市女性団体連絡協議会について

小野市役所市民安全部ヒューマンライフグループ

〒675-1380 小野市中島町 531 番地
TEL : 0794-63-4311